


ティーチング・ポートフォリオ兼教員プロフィール

	<p>保育科 特任講師</p> <p>深 沢 佐 恵 香 （ふかさわ さえか）</p> <p>FUKASAWA Saeka</p>
所属	保 育 科
学位	修士（児童学）（日本女子大学）
資格・免許	保育士資格（東京都－109322） 幼稚園教諭専修免許状（平 29 幼専第 11 号） 小学校教諭専修免許状（平 29 小専第 37 号）
学歴・職歴	<p><学歴></p> <p>2016 年 3 月 日本女子大学家政学部児童学科 卒業 （学士（児童学））</p> <p>2018 年 3 月 日本女子大学家政学研究科児童学専攻 修士課程修了 （修士（児童学））</p> <p><職歴></p> <p>2018 年 4 月 学校法人 なかの幼稚園 教諭（2020 年 7 月まで）</p> <p>2020 年 8 月 日本女子大学家政学研究科児童学専攻 学術研究員 （2021 年 3 月まで）</p> <p>2020 年 8 月 甲府市立小学校 学習指導員（2021 年 3 月まで）</p> <p>2021 年 4 月 山梨学院短期大学保育科 特任講師（現在に至る）</p>
担当科目	保育課程論 保育内容（人間関係） 保育内容総論 子どもと人間関係 子育て支援の理論と方法 子育て支援演習 保育内容特論（人間関係） 保育課程特論
専門分野	保育学
現在の研究テーマ	幼児の主体的な遊びと保育者の援助
競争的資金等の研究課題	該当なし
所属学会	日本保育学会 日本保育者養成教育学会
メッセージ	乳幼児教育は、人間形成の基礎を培う重要な教育です。それを学ぶ皆さんには、ぜひ短大で学んだことを社会で生かして行ってほしいと思います。少しでもそのお手伝いをできれば幸いです。

教育	
2021年4月～2022年3月	
教育方針	体験を通して学ぶ授業づくり
授業	<p>授業の工夫</p> <p><子どもと人間関係> 保育における“人間関係”について、学生自身が体験通して学べるよう第1回授業時にグループ作りを行い、同一グループで協同的な活動（ペーパータワーの作成、保育場面についての話し合い、子どもを取り巻く問題についての課題発表など）を実施した。また、活動の振り返りや教員からのフィードバックを随時行うことで、活動と学習内容の関連が意識づけられるよう工夫した。</p> <p><保育内容総論> これまでの保育内容に関する学びを振り返った後、実際の保育場面を想定した模擬保育の実践を学生全員が行う機会を設けた。小グループごとに実践を行い、実践後に感想用紙を交換することで、学生同士意見が出しやすい環境づくりを工夫した。また、学生自身が実践した模擬保育について、5領域や発達などの視点から振り返ることで、様々な保育知と実践を関連付けることができるよう工夫した。</p> <p><子育て支援演習> 子育て支援の実際を知れるよう、地域の子育て支援現場で活躍されている方をゲストスピーカーとしてお招きした。また学生には、系列幼稚園付設の子育て支援センターでの2日間の実習（実地演習）の機会も設けた。地域子育て支援の現状と課題子育て支援の理念と具体的方法、子育て支援における保育者の役割等について、ゲストスピーカーによる講義と実地演習の両側面から学べるようにした。</p> <p><保育内容特論（人間関係）> 系列幼稚園との連携のもと、園児を対象とした実践（人間関係力を活性化し可視化することを目的とした実践）を行った。学生が企画・準備・実施・振り返りを主体的、協働的に行えるように指導、援助を行った。</p>
	<p>授業改善のための取組</p> <p>授業後のレスポンスシートを丁寧に確認し、要望等あった場合は随時対応した。また、授業冒頭でレスポンスシートの感想・質問を紹介し、授業内容に反映させる等、学生と教員の双方向型のコミュニケーションが図れるよう取り組んだ。</p>
ゼミ	<p>ゼミ活動（卒業演習）（修了研究）</p> <p>2021年度は卒業演習Ⅱを担当していない。</p>
	<p>卒業レポート・修了研究テーマ</p> <p>2021年度は卒業演習Ⅱを担当していない。</p>
課外活動	課外活動指導を担当していない。
2021年3月以前	
主な教育業績	該当なし

研究		
2021年4月～2022年3月		
タイトル（単著・共著）	年月日	発行所、発表雑誌、発表学会等
（学術論文） 「ごっこ遊び」研究の傾向 —保育実践を対象とした調査に着目して—	2022年3月	日本女子大学紀要 第69号
2021年3月以前（主なもの）		
タイトル（単著・共著）	年月日	発行所、発表雑誌、発表学会等
（学術論文） 自然との関わりに見る「幼児期にふさわしい生活」—自然を生かした保育を実践する保育者の語りを通して—（共著）	2021年3月	日本女子大学大学院紀要 第27号
（学術論文） 三法令改訂を保育者はどのように受け止めたか—管理職への聞き取りから—（共著）	2020年3月	日本女子大学家政学部紀要 第67号
（学術論文） 幼稚園教育要領改訂にともなう幼稚園の変化—研究動向と今後の課題—（共著）	2019年3月	日本女子大学家政学部紀要 第66号
（学術論文） 幼稚園教育要領改訂とこれからの幼児教育	2018年3月	日本女子大学院紀要 第24号
（学術論文）（修士論文） 遊びを支える保育者の援助とは何か—幼稚園年長児における総合的な造形活動を通して—	2018年3月	日本女子大学家政学研究科児童学専攻
（学術論文） 幼児に“まかせる”保育とは？—幼稚園年長児のフィールド観察を通して—	2017年	子どもロジー VOL.21
（その他：研究発表） 幼稚園年長児の造形遊びに対する保育者の援助（2）	2018年5月	第71回 日本保育学会
（その他：研究発表） 幼稚園年長児の造形遊びに対する保育者の援助（1）—総合的な活動としての「インディアン祭り」の事例を通して—	2017年5月	第70回 日本保育学会

社会貢献
産官学連携、高大連携、研修会講師、学外委員会活動、学会活動、講演会、等
2021年4月～2022年3月
<ul style="list-style-type: none"> ・山梨英和高等学校 連携事業 講師 ・日本保育者養成教育学会第6回研究大会 実行委員
2021年3月以前（主なもの）
該当なし
受賞 ※個人、所属団体
該当なし